

発行日：2020年11月30日

## 目次

日本語教室 再開	1
今までの MIFA、これからの MIFA < 新旧両会長へのインタビュー >	2
2020 年度 役員・委員	3
新型コロナ「どのように過ごしていますか？」	4
MIFA コロナへの対応方針	5
10 月までのコロナへの対応	6
2019 年度「日本語学習支援ボランティア養成講座」終了しました！	7
状況表	7
役員会便り	8
12 月～2 月の予定	8

ま い ふ あ

MIFA

No.141 Nov/Dec2020、Jan2021

まちだ地域国際交流協会

Machida International

Friendship Association

ボランティア団体/会長 黄川田 南

URL: <http://mifa-machida.info/>

## にほんごきょうしつ さいかい 日本語教室 再開

 ★ ★  
ふつう

7か月以上のコロナ休みの後、10月8日(木)に MIFA の日本語教室を再開しました。再開したのは親子クラスを除く 6 クラス。どのクラスにもリモート学習やお休みを続けるペアがいて、休み前より人数が少ない学習です。それでも人数の多いクラスでは、前半のグループと後半のグループにクラスを分け、それぞれ1時間の学習としています。



再開のトップをきって学習を始めた木曜午前クラスにお邪魔しました。コーディネータの佐藤さんとサブの大井川さんは10時開始の学習の準備のため、9時過ぎに教室を開けました。まず、ドアと窓を開けたままにして、机と椅子を消毒します。感染対策を行った初めての学習のために入念な打ち合わせをしていると、一人目の支援者が見えました。さっそく検温と手と指の消毒をします。「36.1度です。健康診断みたいですね」と佐藤さん。やがて皆さんが教室に現れ、お互いに「久しぶり。元気だった？」と声をかけ合います。皆さん、うれしそう。でも少し恥ずかしそうでした。

全員がマスクをつけたまま、学習が始まりました。それぞれの間に椅子を置き、1mのソーシャル・ディスタンスを意識して座り、テキストも各自で用意するなどお互いに気をつけます。でも、学習に熱が入るとつい距離が縮まってしまう、「あっ、離れなきゃ」と苦笑い。人数も少ないうえ、なるべく小さな声で話すので、いつもよりは少しだけ静かでした。それでも支援者と学習者が顔を合わせて行った学習に、「やっぱり一緒の方が楽しいし、よく分かる」という感想が多く聞かれました。

この日は6組が出席しましたが、そのほとんどが休み中もメールなどで連絡をとり合っていました。うち2組はリモート学習にも挑戦していました。教室での学習ほどではありませんが、「リモート学習でも大丈夫」という声もありました。木曜午前クラスでは1組が再開後もリモート学習を選んでいるそうです。

学習再開のために、どのクラスのコーディネータも打ち合わせを繰り返してきました。それ以外にも、支援者へ連絡して学習者への連絡をお願いするなど、しなければならないことがたくさんありました。本当にお疲れさまでした。これからもコロナウイルスに感染しないように注意しながら、楽しい学習を続けられるといいですね。  
(広報部)

※11月29日、コロナ感染状況悪化のため、12月の日本語教室は一旦休止になりました。

## 今までの MIFA、これからの MIFA 新旧両会長へのインタビュー

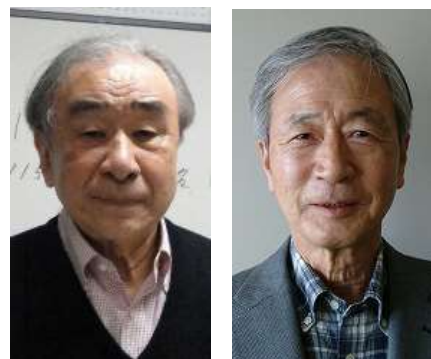
今年 5 月に第 6 代 MIFA 会長に就任された黄川田南さん、第 5 代会長の大和田昭文さんをお迎えして、お話を伺いました。会長という偉い人というイメージがありますが、黄川田さんはカラオケで英語のオールディーズを歌うのが好き、大和田さんは庭でセミの定点観測をなさるなど、意外な一面もお持ちです。

広報部：まず MIFA 入会のきっかけを教えてください。

大和田：私は妻から MIFA 会員募集の記事を見せられたのがきっかけです。

99 年当時は社会常識のある人という条件だけで入会できました。入会前に支援方法を学ぶ養成講座もなく、少し心配でしたが、入会後の講座でどのように支援すればよいか学ぶことができました。

黄川田：私は 2005 年の入会です。これという趣味もないため、定年後は人の役に立つことをしようと思っていたところ、「広報まちだ」で MIFA を知りました。これならば長い間できそうだと思って入会しました。私のときには入会前に養成講座があったので心配せずに済みました。



大和田 前会長 黄川田 新会長

広報部：MIFA 歴も長いお二人ですが、MIFA で最も印象に残っていることは何でしょうか。

大和田：MIFA10 周年記念誌の編集に苦労したことです。予算は 5 万円、スタッフは 4 名で、当時は PC も十分に活用できず、メンバーのお宅で夜遅くまでの手作業でした。記事の集まりも悪く、20 周年の文集作りは止めようということになりました。当時は、10 周年の記念シンポジウム、15 周年の記念講演会を始め、アカデミックなイベントも多く、大学教授たちをお迎えした講演会もずいぶんありました。

広報部：当時の MIFA ニュースには頻りに講演会や学習会の報告が出てきますね。どのようにして先生方を集められたのですか。

大和田：MIFA 創設者の一人の塩田洋さんや当時の支援者の方々の個人的な関係で呼ばれたようです。

黄川田：私は 2010 年から語学部委員やコーディネータなどを務めてきましたが、そのとき行った支援者や学習者のデータ管理の仕事が格別に印象に残っています。私のスキルを活かした仕事でした。

広報部：その頃は MIFA も大所帯となり、データ管理も大変でしたね。

黄川田：はい。2014 年までの 5 年間は学習者の出入りも多く、月に 2 回データを出していました。報告するコーディネータも大変でしたが、その報告をとりまとめて管理する方も大変でした。

大和田：そうそう、当時はコーディネータ会議も毎週ありましたね。さすがに毎週だと議題もなくなって、そのうち隔週になり、現在の月 1 回になりました。

広報部：当時はデータをどのように管理なさっていたのですか。

黄川田：EXCEL で作成したデータベースからコピーしていくつか表を作り、各クラスの支援者、学習者の人数や出身国別の人数などを集計するためにデータを並べ替える、といった作業を何年間も行っていました。月 1 回になっても大変でした。何とかしようとプログラムを勉強して 2017 年に作業を自動化しました。

広報部：自動化によって随分と作業が楽になったようですね。MIFA の歴史や現在の流れを見るときにデータはとても役に立ちます。ところで、MIFA に参加されてよかったと思われたことは何でしょうか。

黄川田：さまざまなイベントに運営スタッフとして参加し、そこで多くの出会いを持たれたことですね。イベントの裏方は大変なのですが、やってみれば楽しく面白いものです。（当時のイベントの写真を見ながら）

大和田：懐かしいですね。黄川田さん同様、私も山登りや花見、工場見学など、学習者の方々といっしょに出かけて交流を深めました。楽しかったですね。

広報部：黄川田さんは MIC（町田国際交流センター）の日本語発表会にも実行委員として参加されてきましたね。

黄川田：はい。5年間担当しました。発表に使う写真やパワーポイントなどの準備で、他の教室の方々と知り合え、企画や当日の運営で MIFA 以外の人たちとお付き合いができました。

広報部：特に深いお付き合いをなさったことは？

大和田：支援 2 人目の学習者の女性が MIFA で出会った学習者の男性と結婚することになり、中国での結婚式に男性の支援者である西條昭朗さん（当時の語学部長）と私が招待されました。先方の事情もあって参加を見合わせたのですが、結婚後に登戸の新居に西條さんとともにお邪魔しました。その後、その女性の再就職の際には履歴書のチェックや面接の練習もしました。

広報部：まさに人生のターニングポイントに立ち会われたんですね。

黄川田：これも 1 対 1 の支援の中で深い信頼関係が築けたからなのですね。こうした関係を積み上げていくことで、単なる学習支援をこえた外国の方たちとの共生が可能になっていくのだと思います。

大和田：私もそう思います。1 対 1 の支援はこれからも MIFA の基本として大切にしていきたいですね。

黄川田：リモート学習をはじめコロナ下の学習が長引くと関係が希薄になるかもしれませんが、何らかの形で信頼関係が深まるような機会を工夫して作りたいと思っています。

広報部：現在 MIFA は創立 27 周年を迎えています。今後の MIFA の運営をどのようにお考えでしょうか。

大和田：私は「(会長としては) がんばらない」をモットーにしてきました。皆さん一人一人の創意工夫に任せ、それぞれの能力を活かしていただくようにするのが会長の役目だと。

黄川田：その考えを引き継ぎたいですね。実は会長就任を何度もお断りしたのですが、大和田さんと渡辺さん（前副会長）お二人の説得に根負けしました。将来、MIFA をこうしたいというような大きなビジョンは特に持ち合わせていませんが、楽しくやっていくことを第一に考え、各部長、コーディネータを始め皆さんの意見を聞き、相談しながら、その都度、課題に向き合っていきたいと思っています。

広報部：今日は、いろいろなお話を聞かせていただき、ありがとうございました。大和田さんは、今後、前副会長の渡辺紀子さん、第 4 代会長の長尾勝人さんとともに顧問として MIFA を支えていけます。皆さまのご健康とご活躍をお祈りいたします。  
(2020.10.29 「ことばらんど」第 1 会議室で)

## 2020 年度 役員・委員

会 長	黄川田 南	副会長	松崎 罔夫				
語学部長	程原 清明	副部長	鈴木 郷子	委 員	小島 隆志	佐竹 忠邦	早田 紀子 町田 和子
コーディネータ 及び サブコーディネータ							
	月 曜	植田 哲史	村山 桂子	木曜前	佐藤 邦夫	大井川 正	
	親 子	石川 久恵	神田 啓子	木曜夜	前田 雅代	佐竹 忠邦	
	火 曜	本間 美佐子	木村 桃子	土 曜	武田 伴子	峠 美代子(A)	青山 恵理子(B)
友好部長	樋村 淳	副部長	池内 賀子	委 員	金田 恵		
会計部長	大江 康照	副部長	依岡 雅人				
広報部長	濱田 敏裕	副部長	前田 昌子	委 員	川合 京子	高田 道子	立石 滋子
総務部長	鈴木 礼子	委 員	近藤 公美	中山 洋子			
監 査 役	土浦 千代子	古谷 民子					
顧 問	大和田 昭文	長尾 勝人	渡辺 紀子				

## オンラインで日本語<sup>にほんごがくしゅう</sup>学習

ティティ・ルイン (ミャンマー 土曜 A)

私は MIFA 土曜日日本語教室で、日本語を勉強している学習者ティティ・ルインです。毎週楽しみに勉強しています。それが新型コロナウイルス感染拡大のため 3 月から MIFA の全日本語クラスが一時休みとなり寂しくなりました。土日は感染防御のためどこにも行けないで自宅で過ごす時間が増えることになりました。

その時、渡辺先生から「ZOOM で日本語学習をやってみてもいいですね」と連絡があり、7 月上旬から ZOOM でのオンライン型日本語学習を始めました。それから、対面学習のような授業を受けることができ楽しみにしております。コロナ禍において、オンライン型の学習のメリットは感染症の防御となり安全に勉強ができることです。その他、教室などへ行く必要がないため、移動時間が別のことに活かせるというメリットもあります。デメリットは勉強中インターネット接続が悪くなることにあることです。また、パソコンの画面を長時間見続けるため目が疲れてしまうかもしれません。でも、私にとってはオンライン型の学習は対面学習と同じように勉強できるだけでなく、自宅から受講でき教室への移動不要のため、コロナが終息してもオンライン型学習を続けたいと思っています。

ティティさんの支援者<sup>しえんしゃ</sup> 渡辺紀子<sup>わたなべのりこ</sup>さんの話 ティティさんとは MIFA の活動が休止になる前に、すでに 2 年間学習支援をしていました。そのため、お互いに気心がわかっていますので、オンラインでの学習もスムーズに行きました。その上、ティティさんは大学で ZOOM を使って授業を行っているので、使い方に慣れていました。週 1 回 1 時間半、ティティさんの要望で日本語能力試験 N1 の「読解」のテキストを使って、オンラインで楽しく勉強しています。

## 日本でのニューノーマルライフ

ベントリーナ・ジョセリン (フィリピン 土曜 B)

私は 2013 年から MIFA で日本語の勉強をしています。毎週土曜日に必ず町田に通っています。勉強する時はほんとに楽しかったです。いろいろな人とであったことで、たくさん国籍の方と友達になれました。

急にこのパンデミックは世界の問題になり日本語教室は休みになってしまい寂しくなりました。

コロナウイルスの発生は、今世紀で世界的に最も重大な健康災害です。多くの国が感染の検査と治療、感染者の隔離、集会の制限、移動の禁止によって広がるのを止めるのに苦労しています。

私は家で勉強の時間を作るのは大変です。自己流で勉強をすると続かず、教室に通う事でたくさん言葉を学び、勉強する事がとても楽しかったので再開を待っていました。

コロナで教室がお休みになって、仕事ばかりの生活になりました。私は高齢者施設で働いているので自分も高齢者も感染しないように十分に注意をしています。仕事では私の日本語が少し通じなくても、単語やジェスチャーで仲間たちと会話を楽しんで使っていました。高齢者は仲間たちとは違う言葉が出てくるので難しいです。それもまた良い勉強になります。

MIFA 教室に通う事で世界の文化にふれることができ知識が増えます。これからも、日本語を勉強していきたいので、私は日本語を学んで行きます。

コロナが落ち着き安全になったら教室で出会った方たちとまた旅行に行きたいです。

神様に私は、コロナウイルスがなくなるよう祈っています。

## MIFA コロナへの対応方針

MIFA は、コロナ感染防止のため2月中旬から休止していた日本語教室を10月8日に再開しました。私たち MIFA は、すべての支援者・学習者が安全・安心に活動できるよう以下の対策を実行し、with CORONA の時代を乗り越えていきます。

### 教室での感染防止策

安心して支援・学習ができるよう、下記8項目の感染防止策を定め、全クラスで実行します。

- (1) 人数が多い場合は、クラスをA、Bの2グループに分けて授業します。  
Aグループ：9:30～10:30      Bグループ：11:00～12:00
- (2) ソーシャル・ディスタンスを1～2mにして座ります。  
(教材を一緒に見なくてもすむようコピーをするなど工夫します)。
- (3) 授業が始まる前と終わった後に机の上を消毒します。
- (4) すべてのドアと窓を開けて換気をよくします。
- (5) 教室の中では必ずマスクをつけます。
- (6) 教室に入るときに体温を測ります。(37℃以上の方は教室には入ることができません)
- (7) 教室に入るときと出るときに手を消毒します。
- (8) もしも自分が感染したとわかったときは、支援者・コーディネータにすぐに連絡します。

### 感染者発生時の対応

新型コロナの感染者や濃厚接触者が発生した場合、下記の報告ルートに従って報告し、感染対策班(メンバー：会長・副会長・総務部長・語学部長)が対策にあたります。

	学習者	支援者	コーディネータ	語学部長	役員	会長
学習者	★ →	○ →	○ →	○ →	→	→
支援者		★ →	○ →	○ →	→	→
コーディネータ			★ →	○ →	→	→
語学部長				★ →	→	→
役員					★ →	→

★：感染者または濃厚接触者を示す

○：報告の経由者を示す

### 感染状況変化への対応

今後、コロナの感染状況が悪化した場合、感染対策班(メンバー：会長・副会長・総務部長・語学部長)が東京都、町田市および周辺地域の新規感染者数の動向等を勘案し、教室の休止を決定します。

### リモート学習の導入

コロナ禍で、感染の不安など様々な事情により教室への参加が難しい支援者・学習者のために、リモート学習を導入しています。

### 学習者向け相談窓口の紹介

新型コロナで困った学習者のために、多言語で電話相談できる東京都などの公的機関の相談窓口をMIFA ホームページにて紹介しています。

紹介ページはコチラから →



## 10月までのコロナへの対応

10月までに行ったMIFAの対応内容を国内外の出来事とともに時系列で掲載します。

M I F A	国内外の出来事
<b>2月</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2月20日よりコロナ感染拡大で日本語教室休止</li> <li>・全8回のボランティア養成講座4回を終えたところで中断</li> </ul>	2月3日 感染者が発生したクルーズ船 横浜港に入港 2月27日 安倍首相 全国の小中高校に臨時休校要請の考え公表
<b>3月</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会 日本語教室の休止継続を確認</li> <li>・HPに学習者向け応援メッセージ掲載</li> </ul>	3月9日 専門家会議 3密回避を呼びかけ 3月24日 東京五輪・パラリンピック延期に 3月29日 コロナで志村けんさん死去
<b>4月</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月の定時総会の中止を決定</li> <li>・コロナ感染防止で4~5月の役員会中止を決定</li> <li>・各会員へ議案書 発送。以下を同封 議案の承認可否の回答用ハガキ MIFA ニュース No.140 会費の銀行振り込みを依頼するチラシ</li> </ul>	4月7日 7都道府県に「緊急事態宣言」 4月16日 「緊急事態宣言」を全国へ拡大 4月23日 コロナで岡江久美子さん死去
<b>5月</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賛成多数で議案承認。これにより黄川田さんが会長に就任。各会員へハガキで結果連絡</li> </ul>	5月14日 「緊急事態宣言」39県で解除 5月25日 「緊急事態宣言」全国で解除
<b>6月</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会 教室再開を議論。以下を決定 8月末まで休止継続（再開時期は未定） 各会員の教室への参加意思を確認する 会費徴収期限を8月末に延伸</li> <li>・アンケート「MIFA 教室再開に向けて」を各会員へ郵送。再開時の教室への参加意思を調査</li> </ul>	6月2日 初の「東京アラート」都民に警戒呼びかけ 6月19日 都道府県をまたぐ移動の自粛要請を全国で緩和
<b>7月</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・役員会 教室再開やコロナ感染対策について議論 アンケートで再開希望が多いことを受け9月再開に向け準備することに</li> </ul>	7月22日 「Go To トラベル」キャンペーン始まる 7月28日 国内の死者1000人を超える（クルーズ船除く）
<b>8月</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネータ会議 教室9月再開は困難との意見多数</li> <li>・役員会 教室再開を再度議論。10月初旬再開に向け準備することに</li> </ul>	8月11日 世界の感染者2000万人を超える 8月中旬 ヨーロッパで感染再拡大
<b>9月</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネータ会議 10月初旬の教室再開に向け話し合い</li> <li>・役員会 教室再開に向けた進捗を確認</li> <li>・各会員に対して教室への参加/不参加を確認</li> <li>・HPに外国語対応のコロナ相談窓口情報を掲載</li> </ul>	9月1日 ヨーロッパ感染拡大止まらず。スペインは自治体の出入り原則禁止 9月5日 WHO「ワクチン分配開始は来年中頃の見通し」「慎重に安全を確認すべき」という考え示す
<b>10月</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10月8日より日本語教室再開</li> <li>・役員会 今後のコロナ対応方法について確認</li> <li>・10月31日よりボランティア養成講座 再開</li> </ul>	10月2日 トランプ大統領がコロナ感染 10月中旬 ヨーロッパ感染さらに拡大。フランス3か月ぶりに非常事態を宣言 10月29日 国内感染者 累計10万人を超える

## 2019年度「日本語学習支援ボランティア養成講座」終了しました！

2019年度「養成講座」は、前回に引き続き山形美保子先生を講師にお迎えし、28名の受講者と共に2月1日より毎週土曜8回の予定でスタートしました。

その後、第4回を終了したところで、新型コロナ感染拡大により中断を余儀なくされてしまいましたが、10月31日よりようやく再開できました。

受講者の方々には安心して受講していただけるよう、教室の机上の消毒、換気に注意し、皆様にはマスクの着用・検温・手指の消毒をお願いしました。教室が密にならないよう、時間を分け2クラスにし、90分の講義形式のみになりました。



山形先生には1日2回の講義や講義内容の変更などをお願いし、全ての要望に応じてくださったことが再開できる大きな力になりました。そして、25名の受講者が戻って来てくださったことも驚きであり、先生をはじめ皆様のご理解・ご協力に感謝した次第です。

第5回以降、変更せざるをえなかったところがありました。学習者を招いてのグループディスカッションができなかったこと、各教室への見学を中止したこと、最終日に懇親会を開けなかったことです。これらの企画は、受講者間、受講者と学習者間の交流ができる部分でしたので、変更せざるをえなかったことは本当に残念なことでした。

11月21日最終日、MIFA 紹介・語学支援活動の説明・各教室の支援状況の話を以って講座は終了。15名（男性6名・女性9名）の方が入会されました。

現在、教室は人数制限しての支援ですので、新会員の支援開始はしばらく後になるかもしれませんが、教室内で新会員の方々を見かけられたら、どうぞ温かい声をかけて下さい。また、新会員の方々には、MIFAの仲間として、語学支援以外の様々な活動にも積極的に参加していただけたらと思います。

皆さんとMIFAでのボランティア活動を楽しくやっていきましょう！

（語学部 早田紀子）

### 状況表 2020.10.31現在

◆学習者数

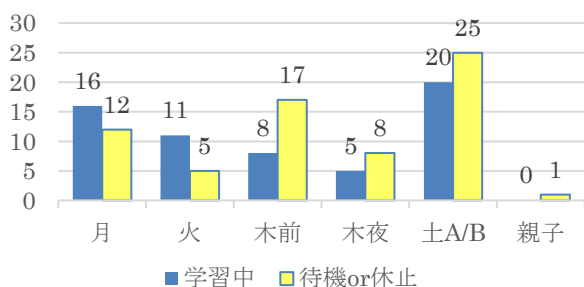
学習中	60
待機 or 休止	68
合計	128

◆支援者

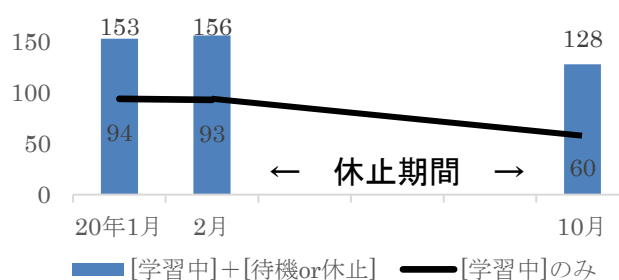
支援中	57
待機 or 休止	56
合計	113

学習中にはリモート学習中の8名を含む  
支援中にはリモート支援中の8名を含む

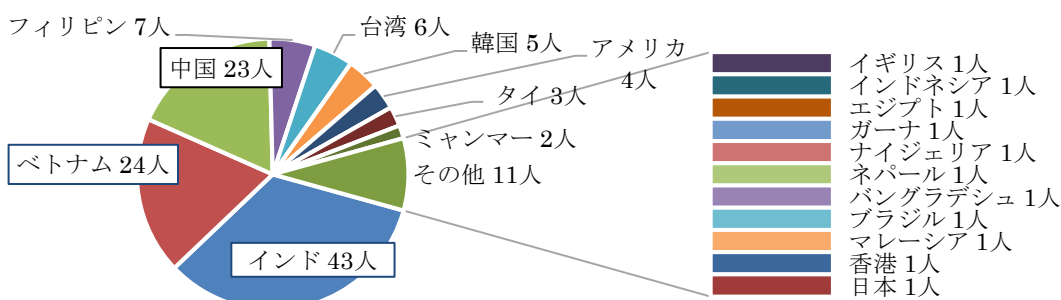
◆クラス別学習者数



◆学習者数の推移



◆学習者出身国





## 役員会便り

新年度は総会の中止という異常事態からのスタートでしたが、議案書への賛同を皆さんから返信ハガキでいただいたことにより、新体制での活動を始めることができました。教室が中止の間も6月からは再開への対策をたてるために定期的に役員会を開催してきましたので、その間の状況を報告します。

6月 9日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態宣言が解除されたことを受けて、町田市の施設利用制限は緩められましたが、MIFAの教室再開はまだ不可能として、9月再開を目指すことにしました</li> <li>・会員の意向を聞くためにアンケート調査を実施し、返信ハガキに今後の支援のあり方、どのように感染対策をしたらよいかなどを書いてもらうようにしました</li> </ul>
7月 21日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートは6月19日127名に発送、7月14日回収、112名から返信がありました。再開に向けての意欲を感じさせる回答が多く見受けられた一方で休会、退会の連絡もありました</li> <li>・教室再開の場合、下記のような感染予防対策をした上で9月10月をトライアル期間とします (検温、手指消毒、マスク着用、換気、間隔をとること、机のアルコール消毒など一般的な対策に加え、教室定員の半数とする、学習費は当面徴収しない、1時間の交代制)</li> <li>・親子教室は密を避けることができないので再開の対象からはずれます</li> <li>・中断している「支援者養成講座」の残り4回を10月31日から再開することとし、準備を始めます</li> </ul>
8月 20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コーディネータ会議の意見から9月教室再開は見送り、感染状況を見て10月以降の再開とします</li> <li>・11月に予定していた恒例の「スピーチ大会」は中止します</li> </ul>
9月 8日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10月8日(木)から教室を再開することになりましたが、万が一MIFA内で感染が発生した場合に備えて連絡体制を整えます</li> </ul>
10月 13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教室は順調に再開していますが、リモート学習の基準を支援者に周知するため文書にしました</li> <li>・9月末までの年会費納入者は113名、新名簿を作成し役員に配布しました</li> <li>・友好部主催のイベント計画はすべてキャンセルとしましたが、年明けに遠足か見学会など屋外のものできないかと考えています</li> </ul>
11月 10日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染拡大傾向が非常に懸念されますので、密になりがちなこれからの季節は各教室で改めて注意の必要があります</li> <li>・養成講座は10月31日から再開し、11月21日が最終日です。修了後に入会予定の新会員に早く慣れてもらうため、支援開始できるような機会を作りたいと考えています</li> <li>・1時間交代制での予定でしたが、教室によっては余裕があるため1.5~2時間での学習をしています</li> <li>・上期決算と監査を無事終えましたので報告しました</li> </ul>

## 12月~2月の予定

12月 8日 (火)	13:30~15:30	役員会	せりがや会館	大会議室
1月 12日 (火)	13:30~15:30	役員会	場所未定	
2月 9日 (火)	13:30~15:30	役員会	場所未定	

12月25日(金) ~ 1月8日(金) MIFA冬休み

**お知らせ** 地域情報誌「まちびと」夏号でMIFAが紹介されました。コチラからご覧になれます。→



**訃報** 木夜クラスで長い間、支援された佐々木脩さんが昨年、逝去されました。謹んでお知らせいたします。

**お詫び** 前回発行のMIFAニュースNo.140に掲載した日本語能力試験合格者で右の4名の方が漏れていました。お詫びいたします。

級	名 前	国	クラス	支 援 者
N2	ドオ ヴァン ハン	ベトナム	土曜A	安藤 恵
N2	ファム ヴァン コン	ベトナム	土曜A	前田 眞志
N2	ホアン ヴァン ロイ	ベトナム	土曜A	武田 伴子
N2	ホアン ゴック フウ	ベトナム	土曜A	浅田 マリ子

\*\*\*\*\*

掲載文及び写真の権利はMIFAに属しますので、許可なく転用することをお断りします

**【編集委員】**

濱田敏裕 高田道子  
立石滋子 前田昌子

MIFA ニュース No.141 Nov/Dec2020、Jan2021

発行日：2020年11月30日

問合せ先：濱田敏裕

e-mail : mifa\_machida@ybb.ne.jp

ホームページ : <http://mifa-machida.info/>



ホームページ